

再生医療等提供に関する説明文書(変更版)

題目：口腔インプラント治療の治癒促進に関わる多血小板血漿（PRP）を用いた治療

1. 医療提供に関わる担当者等の氏名及び職名

責任者	濱田 傑	歯科口腔外科・教授
分担者	松永和秀	歯科口腔外科・医学部講師
	榎本明史	歯科口腔外科・講師
	福田寛二	高度先端総合医療センター再生医療部・教授
	寺村岳士	高度先端総合医療センター再生医療部・医学部講師
	竹原俊幸	高度先端総合医療センター再生医療部・助教
	小野寺勇太	高度先端総合医療センター再生医療部・助手

2. 本医療提供の意義及び目的

①意義：

口腔インプラント治療は、齲蝕や歯周病また外傷によって喪失した歯牙を再建できる有用な治療方法の一つとされています。その一方で、顎骨の狭小や菲薄を認める患者には口腔インプラント治療を行うことは難しく、予後も不良となることが予想されます。

口腔インプラント治療では、自家骨や人工骨を用いての歯槽堤の造成がさかんに行われていますが、造成された骨を被覆する粘膜上皮の治癒状況が骨造成の予後に大きく影響すると考えています。

最近、創傷治癒促進効果があり、骨再生および上皮再生に有用とされる多血小板血漿（以下、PRP）が歯周治療および口腔インプラント治療に用いられるようになり、その結果、顎骨再生および歯周組織の再生に有用であることが報告されています。

今回、私たちは、自家骨もしくは人工骨移植とともに PRP を併用した口腔インプラント手術における術後の骨造成の状況、口腔インプラント治療前の PRP を併用した骨造成手術における術後の骨造成の状況ならびに粘膜上皮の治癒状況を経時的かつ客観的に評価します。最終的な目標は、不十分な骨量部位に植立されたインプラントが、本医療提供によって、十分な骨量に植立されたインプラントに準じた骨植を得ることです。本医療提供で良好な結果を得ることができれば、口腔インプラント領域において確立された治療方法の一つとして期待できるのではないかと考えております。

②目的：

顎骨再生および歯周組織の再生に有用である PRP を口腔インプラントに関わる治療に応用し、治療後の骨造成の状況ならびに骨を被覆する粘膜上皮の状況を経時的かつ客観的に評価し、その有用性を検討し、最終的な目標は、不十分な骨量部位に植立されたインプラントが、本医療提供によって、十分な骨量に植立されたインプラントに準じた骨植を得ることです。

3. 本医療提供の方法及び期間

①方法：

口腔インプラント手術ならびに骨造成術において、各手術中に、患者さん自身の 30 ml 程度の静脈血を滅菌された採血管に採取します。次に、その血液をすぐに遠心分離機にかけて PRP を抽出します。手術が終了する直前に、骨移植を行った部分に PRP を添付し、創を閉じて手術を終了します。

術後は 1 か月ごとに、患者さんの口腔内の状況とレントゲンの検査を行い、客観的に歯周組織と歯槽骨の状態を評価します。また 3 か月に 1 回は CT での精査も行う予定です。

②期間：

この医療提供期間は平成 31 年 3 月までです。

一人の患者さんが直接関わる評価期間は、術後 3 年間ですが、それ以降も外来での観察は継続します。

4. 本医療提供対象者として選定された理由

このたび患者さんは口腔インプラント治療もしくは口腔インプラント治療前の骨造成術を希望され、術前の精査にて、手術が適応と判断いたしました。口腔インプラント治療の予後は、術後の骨造成の状況ならびに粘膜上皮の治癒に大きく影響すると考えております。そこで、今回、創傷治癒促進効果があり、顎骨再生および歯周組織再生に有用とされている患者さん自身の血液の中に存在する PRP を用いることで、術後の治癒をより効果的なものにしたと考えており、このたび患者さんを本医療提供対象者として選定させて頂きました。

5. 予想される効果及び副作用又は医療提供対象者に及ぼす不利益

①効果：

骨再生および歯周組織再生に有用とされる PRP を併用した口腔インプラント治療もしくはインプラント治療前の骨造成術を行い、インプラント周囲の骨造成ならびに粘膜上皮の治癒状況を経時的および客観的に評価します。十分な骨量に植立されたインプラントに準じた骨植を得られることができれば、口腔インプラント治療を行う患者さんに対し、より安全で質の高いインプラント治療を提供できるのではないかと考えています。

なお、他の治療として PRP を使用しない従来の口腔インプラント治療およびインプラント治療前の骨造成術があります。その場合、本医療提供のように 30ml 程度の採血を行う必要はなく、採血部位に関する合併症をきたす危険性はありません。その一方で、骨移植後に経時的な骨吸収をきたし、十分な骨量を得られない可能性や粘膜上皮の治癒に遅延をきたす場合もあると考えます。PRP を使用した治療と PRP を使用しなかった治療とで、手術部位の術後感染の発生に顕著な差はないと考えております。患者さんとよく相談して、治療方法を決定したいと考えております。

②副作用又は医療提供対象者に及ぼす不利益及びその対処法等：

手術中に患者さんから静脈血を 30ml 採取することが必要であります。患者さんに疼痛を与えることは少ないと考えますが、もし、採血部位の疼痛、知覚異常、感染などの症状が出現した場合は、認定再生医療等委員会の責任者ならびに病院長に報告し、適切かつ迅速に対処方法をとらせて頂きます。PRP は患者さん自身の血液で

あることから、異物反応や術後感染を起こす可能性は少ないと考えます。なお PRP は、血液を一度遠心分離機にかけ、抽出し、再度清潔手術野に使用するため、操作中に菌が入り、創部の感染が生じないように厳重な清潔操作を行いたいと考えています。手術当日に作製された PRP の一部は、同日にマイコプラズマ否定試験やエンドトキシン試験を行わせて頂きます。それらの試験に陽性や異常値が判明した場合、認定再生医療等委員会ならびに病院長に報告し、適切かつ迅速に対処方法をとらせて頂きます。創部や採血部位に感染などきたした場合の対処方法として、抗菌薬など必要時投与することなどを検討しております。

6. 本医療提供に同意しなくても不利益は受けません

この医療提供を受けられるかどうかは、患者さんもしくは患者さんご家族の方々の自由意志で決めて頂いております。お断りになっても、あなたの不利益になるようなことはありません。

7. 同意しても、いつでも本医療提供は中止できます。

本医療提供を受けると決めた後でも、止めたくなくなった時はいつでも中止できます。その際は、遠慮なく私達担当医師（歯科口腔外科 教授 濱田傑、講師 榎本明史、医学部講師 松永和秀、072-366-0221）にご相談ください。

8. あなたの人権保護に関すること

あなたの病気、症状、体の状態及び検査について、研究会や学会で報告することもあります。いずれの場合でも、あなたのプライバシーを守るため、これらの報告ではあなた個人に関する情報（特に名前）が外部に漏れないように慎重に配慮いたします。

9. 資料の入手と閲覧について

本医療提供のために作成した資料はすべて、閲覧することができます。また、資料を入手したい場合は私達担当医師（歯科口腔外科 教授 濱田傑、講師 榎本明史、医学部講師 松永和秀、072-366-0221）にご相談ください。

10. 個人情報等の取り扱いについて

あなた個人に関する情報（特に名前）が外部に漏れないように慎重に配慮いたします。この医療提供に関するデータを作成する際に、患者さんの名前ではなくまったく新しい番号をつけて管理し、そのデータだけでは誰のデータがわからないようにします。

11. 資料の保管および破棄の方法について

治療過程で知り得た個人情報は厳重に管理・保管し、データを公開する場合は個人が特定される情報は含みません。得られた情報は鍵のかかった保管庫に保管します。

12. 機関に関わる利益相反について

利益相反状態はありません。

13. 本医療提供に関するご相談について

本医療提供に関し、疑問に思ったことなどありましたら、遠慮なく、私達担当医

師（歯科口腔外科 教授 濱田傑、講師 榎本明史、医学部講師 松永和秀、072-366-0221）にご相談ください。

14. 本医療提供を受ける患者さんの費用負担について

本治療は通常の口腔インプラント治療に関する治療ですので、すべて自費診療で保険が適応されません。また、1回の採血からPRPを作製する工程の費用は5万円とさせていただきます。本医療提供に際し、患者さんにとってなんらかの不具合が生じた場合、認定再生医療等委員会ならびに病院長に相談の上、適切な対応をとらせて頂きます。

15. 健康・子孫に受け継がれ得る遺伝的特徴等に関する重要な知見が得られた際の結果の告知について

本医療提供中にあなたの健康や子孫に受け継がれる遺伝的特徴等に関する重要な知見が得られることは基本的ありませんが、医療提供目的とは意図せず偶然に見つかることもあります。あなたがこの治療を受ける場合、このような知見が得られた際の告知を希望するか否かについて同意書にてお知らせください。

16. あなたの情報について

あなたから知り得た情報は基本的に他の施設機関に情報を提供することはありませんが、仮に将来、他の施設機関との共同で医療提供を行うことがあり、あなたの情報を提供する場合は、改めて、同意の旨をお聞きすることもあるかもしれません。

17. 本医療提供の実施にあたって

本医療提供は、「口腔インプラント治療の治癒促進に関わる多血小板血漿（PRP）を用いた治療」という課題名で、近畿大学医学部認定再生医療等審査委員会および近畿大学医学部附属病院の審議を受け、医学的・倫理的に適切であり、かつあなたの人権が守られていることが承認されたものであります。

なお、本学医学部認定再生医療等審査委員会の名簿・議事録の要旨および手順書について <http://www.med.kindai.ac.jp/rinri/> から確認できます。

本医療提供をあなたに提供するにあたり、医療提供担当者は、治療向上のため、教育または研修を受ける機会を得るために、日本口腔外科学会、日本口腔インプラント学会、日本口腔顎顔面インプラント学会、日本口蓋裂学会などに参加し、常に最新でかつ最良の情報を得るように努めます。

18. 本医療提供の問い合わせ先

近畿大学医学部附属病院 歯科口腔外科
教授 濱田 傑、講師 榎本明史、医学部講師 松永和秀
連絡先 Tel ; 072-366-0221（内：3745）

19. 本医療提供に関する補償について

本医療提供は自費診療となっておりますが、何か異常が起きましたら、すぐに私たち担当医師に知らせてください。あなたがこの治療で健康被害を受けられたときには、認定再生医療等委員会の責任者ならびに病院長に報告し、責任をもって適切な対応をとらせて頂きます。もし、あなたが、他の病院、他の診療センタ

一を受診する場合は、必ず、受診先の先生へ本治療を受けている旨を伝えてください。また、必要に応じて私たち担当医師が施行した本医療提供の詳細について、説明させていただきます。

20. 個人情報保護法に基づく情報提供等（本医療提供に係る）に関する問い合わせ窓口

近畿大学医学部附属病院 歯科口腔外科

教授 濱田 傑、講師 榎本明史、医学部講師 松永和秀

連絡先 Tel ; 072-366-0221（内：3745）

以上、この医療提供の内容について十分ご理解いただいたうえで、本医療提供を受けることをお決めになりましたら、同意書に署名及び捺印をし、日付の記入をお願いいたします。その後に、説明文書とともに同意書の写しをお渡しいたします。

説明年月日 : 西暦 年 月 日

説明担当医 : 歯科口腔外科

連絡先： 072-366-0221(歯科口腔外科医局 内線:3745)